

転車台周辺の土地利用

住民の声を反映した計画を

梶田進議員は、3月9日、日本共産党議員団を代表して町政に関する代表質問を行い、平成23年度予算に関連して、転車台周

梶田進議員質問 衣浦港3号地産業廃棄物最終処分場整備に伴う地元対策として、転車台周辺の土地が購入されることになりました。

地元ではまとまった広さの土地がなく、利用方法に大きな関心があります。

土地利用方法についての基本的な考えは。

答 町長 利用方法については3つの機能を考えています。

1つ目は、みそ蔵や転車台に近接し、国道247号、臨港道路に接した地の利を生かした産業・観光拠点施設としての機能。

2つ目は、町の伝統的地場

産業や工業振興、新たな観光開発、さらに地域産業品の流通に資すること。地域のみなさんが集い交流できるコミュニティ機能で、スポーツ・レ

3つ目は、臨港道路を通行する産業廃棄物運搬車輻の環境負荷を軽減する緩衝帯としての緑地機能であります。

梶田進議員質問 地域の要望として、駐車場整備、多目的広場・芝生広場の希望が多く、さらに公園・交通公園、スポーツ広場等があります。

また、施設整備として、道の駅、環境の町として太陽光・風力発電施設、温泉施設、JR武豊線敷設記念資料館等々設置の提案があります。

ぜひ、計画段階から住民の意見を聞き、住民要望の実現に努力してもらいたい。

辺土地の利用、ゴミ処理の広域化問題などについて、次のように町当局の見解をただしました。

答 総務部長 これから基本設計をつくっていくので要望を集約し、整理していきたいと考えています。

大枠を決めてからみなさんの意見を反映できるか考えた

梶田進議員質問 半田土地開発公社から買戻しする以前に、一部仮整備して、駐車場などとして利用できないか。

答 総務部長 買い戻しして所有権を得た後、使用可能です。ただ、土地の管理は、事実上、町が行うことになるので、そのために必要な整備は行うことができます。

知多南部ごみ処理広域化情報公開・住民説明会を

梶田進議員質問 昨年4

月1日、知多南部広域環境組合が設立されました今後の運営について、これまでも、情報公開、住民説明会の開催を求めてきましたが、十分行なわれていません。

今後、住民のみなさんの意見を反映させていくために、情報公開、住民説明会の開催について、どのように考えておられますか。

答 厚生部長 住民説明会については、武豊町の単独事業ではなく、2市3町で進めている事業なので、ブロック会議の内容として、住民のみなさんに知らせていきたいと考えています。

既に、組合が設立されており、組合が必要に応じて、対応されるものと考えています。

梶田進議員質問 新しく焼却施設が建設される予定となっている半田クリーンセンター内の土地が一般廃棄物で埋め立てられており、鉛で汚染されていることが明らかとなりました。そして、その除去費用を組合が負担することになっていきます。

本来は、土地の所有者（半田市）が責任を持って処理すべきものであります。

「温水プール建設時などに困らなかつた」「法律の改正、ガイドラインの制定があり、手続きが新たに必要との認識がなかつた」から組合が負担するということは納得できない。

武豊町は約1千1百万円の負担が必要となりますが、どのような見解を持っておられるか。

答 厚生部長 組合議会の指示、管理者の指示の下に統一した資料、統一した日程で、今後、説明を進めさせていただきます。

梶田すすむ議員の

プロフィール

1946年（昭和21）生まれ

65歳

1961年 常滑市立小鈴谷中学校（現南陵中学校）卒業後、日本ガイシ（株）産業訓練学校入社。

1965年 日本ガイシ（株）知多製造所勤務。

1995年 国延昶一さんの後を受け継ぎ、町議会議員に初当選。

この間、決算特別委員長、産業建設委員会副委員長などの要職を歴任し、住民要求と町政の刷新に全力で取り組んできました。

現在、4期目。
2006年 日本ガイシ（株）を定年退職。

2010年 原水爆禁止知多地域協議会事務局長に就任。核兵器なくせ、平和運動に全力投球しています。

* * *

家族 義父母・妻・娘と5人暮らし。

趣味 登山・ハイキング等のアウトドアスポーツ。

現住所 武豊町字白山36-3
電話・FAX 73-8908
携帯電話 090-9903-7854
E-mail s-kajita@tac-ne



代表質問を行う梶田進議員（3月9日）